

北川内神楽

団体名称 北川内神楽保存会

指 定 加美町指定無形民俗文化財 平成 8 年 4 月 1 日

概 要

北川内神楽は、栗原市長崎地区に伝わった南部神楽の伝統を引く嶋体神楽で、明治 20 年代に始められました。一時途絶えましたが、地区の有志により昭和 44 年に復活しました。

舞は 8 人で組織され、中には太鼓打ち兼神楽歌 1 人、すり鐘 2 人の囃子手が含まれます。芸題には三番叟・那須の与一・五條の橋の戦等合戦物のほか、人情物・桃太郎鬼退治・道化等の余興物もあります。

元来農民の慰楽として、鎮守の祭典・お盆・正月の休み等に行われていましたが、現在は遠方からの求めにも応じて観客を喜ばせています。

